

☆キャリアウィーク

今日から2年生のキャリアウィークが始まりました。昔は「職場体験学習」と言っていました。中学生のうちに様々な仕事について学ぶことや実際に仕事がどのように行われているか、仕事の大変さ、大人が真剣に働く姿、などを体験することはとても重要なことだと思います。

「働く」というのは、収入を得る目的だけで行うものではないと思っています。

例えば、建設会社や建築関係の方々のおかげで、道路やビル、橋、家や水道管などが作られます。これらは私たちの生活になくてはならないものです。お寿司屋さんや中華料理屋さん、おそば屋さんや洋食屋さんなどで私たちは美味しい食事をいただきます。美味しい食べ物は私たちを幸せにしてくれます。他にも、様々な会社や科学者、先生などいろいろな職業がありますが、モノを作ったり、人を育てたり、食欲を満たしたり、様々な職業があり、いろいろな仕事に携（たずさ）わるの方々のおかげで、私たちは幸せになっています。

一人一人が自分の仕事を一生懸命することによって社会がより住みやすくなっていると思いますし、その対価として給料をいただくのだと思っています。つまり、私たちは「仕事」をすることで社会の役に立ち、その代わりに給料をもらっているのです。

「人の役に立つこと、社会の役に立つことは何か」「人を幸せにするために自分にできることは何か」を考えることが職業を考えること

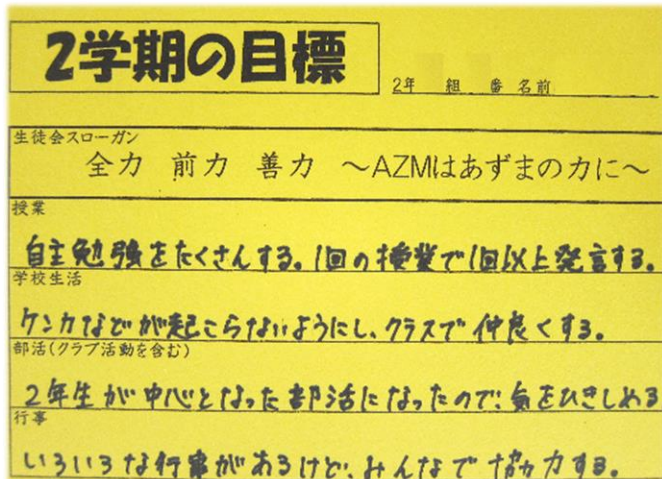


です。皆さんは、仕事を通して必ず誰かの役に立ちます。

仕事をするすることで、社会に住んでいるみんなの役に立ち、いただいた給料によって自分たちが幸せに生きることができ、その使ったお金が社会をつくるのだと思っています。

☆先輩の自覚

1階の廊下に2年生の個人目標が掲示されていました。見てみると、先輩としての自覚が感じられる目標がたくさんありました。3年生が部活動を引退して2年生が中心となったことで、気持ちに大きな変化が表れていることを感じます。



「先輩として後輩に教える」
「中心となるので、きちんと声を出す」
「1年生のお手本となるようにする」
「部を引っ張っていけるよう心がける」
などなど…。

「自分たちがやらなければ！」という気持ちが伝わってくる言葉がたくさん書かれています。

今の気持ちを大切にして、ぜひ1年生を引っ張って行ってほしいと思います。

☆給食委員会から

校舎の各階に給食委員会の生徒が作ってくれたポスターが掲示されています。

内容は大きく分けて2種類。「食缶をこぼさないように注意を促す」と「給食を残さず食べましょう」というものです。いろいろなところに20枚以上掲示されています。

1学期の終わり頃に大食缶をこぼしてしまうことがよくありました。中には熱いスープ類が入っていることが多いので、火傷（やけど）をする危険性があります。新しい調理場が出来て、大食缶の形が変わり、中身がこぼれないような工夫もされていますが、常に気を付けて運ぶことが大切です。

また、給食後に残ったパンや牛乳を、当番が職員室に持って来ますが、全校生徒が残したものが集まるとたいへんな量になります。いつも「もったいないな」と思っていたのですが、給食委員がポスターを作ってくれて、とてもありがたいです。



皆さんはポスターに気づいていますか？ なかなかの力作揃いですよ。ぜひ、ポスターを見て下さい。そして、大食缶を運ぶ時に意識してほしいです。また、給食を残さず食べてほしいと思います。

2学期終了時には、給食委員会から「今学期は一度も大食缶をこぼしませんでした」「残飯が大幅に減りました」という報告が聞けるとうれしいですね。